



実効性のある学校評価の実施に向けて  
－ 日常の振り返りを次年度の教育活動や  
園経営に生かす工夫－

(公社)全国幼児教育研究協会

副理事長 中井清津子

顧問 岡上直子



# 学校評価・園評価とは

園の保育・教育、施設面、地域の人たちとのつながりなど「園全体の運営」について評価し、よかった点、改善したい点を見つけ、よりよい園を目指すもの

## 保育所における園評価

- 保育士等の自己評価
- 保育所の自己評価
- 第三者評価

※ 保育所保育指針

## 幼稚園における園評価

- 自己評価
- 学校関係者評価
- 第三者評価

幼稚園教育要領

組織的・継続的な改善

## 学校評価・園評価の目的

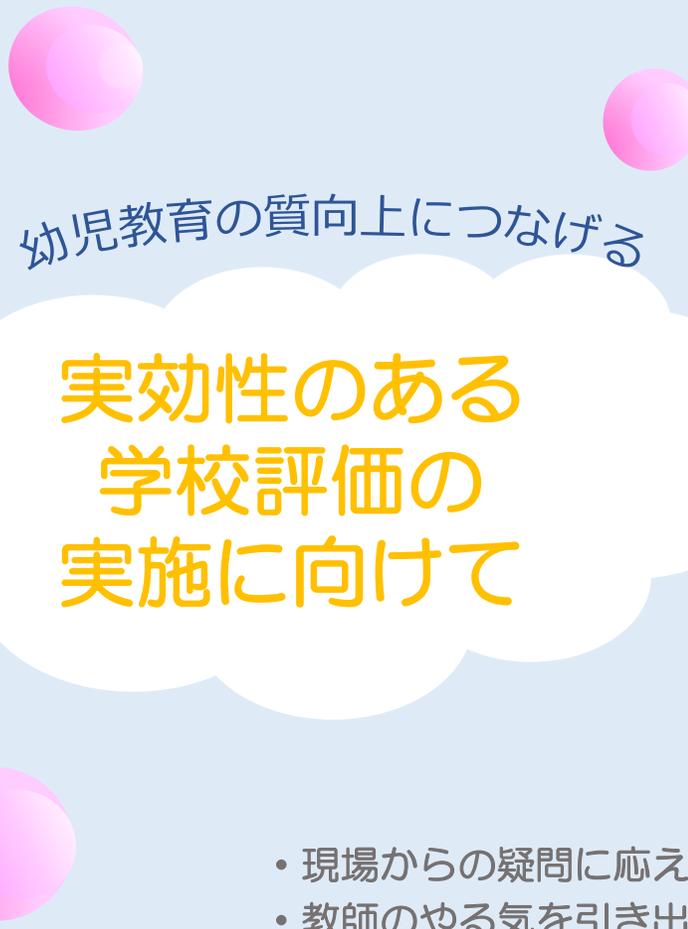
園・家庭・地域の連携協力による園づくり

- ★園運営について、目指すべき目標を設定し、その達成状況や取組の適切さ等を評価
- ★自己評価及び学校(園)関係者評価の結果の公表・説明により、説明責任を果たす
- ★各園の設置者等が、学校評価・園評価の結果に応じ、園に対する支援や条件整備等の改善処置を講じる。

教育・保育の質を保証・向上

## 本日の研修の主な課題

- 重点的に取り組む目標の考え方と具体性
- 評価項目や指標の具体的な内容
- 次年度の教育課程や園運営に生かす改善策としての評価



幼児教育の質向上につなげる

## 実効性のある 学校評価の 実施に向けて

- 現場からの疑問に答える
- 教師のやる気を引き出す
- 園の運営に生かす

公益社団法人  
全国幼児教育研究協会

# 学校評価の流れ

～学校評価は、保育を含む園運営の改善・家庭や地域と連携した学校づくり～

## 自己評価

## 学校関係者評価

学校評価には、自己評価と学校関係者評価があります。

重点目標の設定



評価項目・  
評価指標の設定



実践（園での取組）



年度末の自己評価



保護者や地域住民等の  
学校関係者が  
自己評価の結果を評価

情報提供や  
保育参観等を通して  
園の活動を理解



改善の検討

1

これを毎年繰り返すことで、園の取組が充実します！

## 学校評価実施の感想

まずはやってみることが大切です。

1年目

重点目標を踏まえて、「幼児がこんな育ちを見せたら嬉しいね」というような成長モデルを『成果指標』として示したら、教職員から、「分からない」と言われました。

3年目

「評価指標として設定した取組を意識しながら保育に取り組むのが、当たり前になった」と教職員から言われます。

3年間で  
振り返った  
園長の感想

園長のリーダーシップの下に、全教職員で試行錯誤しながら進めていくうちに、気がつけば、自己評価が保育の質を保証するための仕組みとして機能していました。



次ページからは、自己評価についてみてみましょう！

2

# 自己評価の実施の流れ

～学校評価の基本は「自己評価」～

本年度特に  
重点を置き  
たいこと

## ✓重点目標の設定

- ・本年度、特に重点を置いて目指したいこと
- ・保育や必要な取組のイメージができる目標

## ✓評価項目・評価指標の設定

- ・重点目標の達成に向けた取組（評価項目）の設定
- ・取組や達成の状況を把握する視点（評価指標）

こんなことをしたらどう  
だろう？という取組  
を考えてみます。

保育の中でこんな  
ことをしてみたら  
という具体的な保  
育者の取組例！

実践

## ✓改善の検討

- ・全教職員での振り返り
- ・短期的、長期的な視点から、課題解決を検討し、  
来年度以降の取組を改善

## ✓年度末の自己評価

- ・全教職員での振り返り
- ・取組状況や成果を確かめて、「重点目標」の達成  
状況を把握

保護者アンケート  
の結果の活用<sup>(※)</sup>

そうしたら、子  
供たちはこんな  
育ちが期待でき  
るかも、という  
姿・成果の例

学校関係者評価も  
実施しましょう。

※ 保護者は、幼児が園に通う姿を毎日見えています。年度終わりや保育参観終了後に実施する、園での活動等に関する保護者アンケートの結果も参考にして、1年間の園での活動を振り返りましょう。

# 自己評価の実施例

～「実践の具体的なイメージ」～

## 重点目標

### ○自然と関わる遊びを豊かにする保育の展開 他

- ・教育目標「考えて行動する子ども」の達成に向け、不思議さに夢中になれる保育を展開したい。
- ・自然と関わると「不思議！」を考えることも多い。
- ・園の自然環境を十分に活用できていない。

## 改善の検討

### ○来年度の教育課程の編成

### ○教育活動&園運営への反映

各園での課題発見・解決の道筋の中で、教師の力量を伸ばすきっかけがつかめるでしょう。これこそが、学校評価の意義の一つです。

## 評価項目

### ○振り返りの充実による指導計画の改善 他

- ・自然と関わる遊びを指導計画に位置付け

## 評価指標

### (取組指標)

- ④振り返りの記録を定期的にまとめて指導計画を改善する
- ③振り返りの記録から、自らの指導と幼児の学びとの関わりを捉える
- ②幼児が自然と触れ合っている姿を記録し幼児の興味・関心を捉える
- ①自然と関わる遊び等を保育に取り入れる

どのようなことに、どの程度取り組むか。

### (成果指標)

- ④幼児が自然の変化に興味を示したり、自分たちの遊びを取り入れるようになった
- ③幼児が、調べたり集めたり試行錯誤したりしながら、自然環境に関わるようになった
- ②幼児が、自然の事象や変化に気づき、表現したり伝えたりするようになった
- ①幼児が、自然の事象や自然の様子を見るようになった

幼児や教師がどのように変化したか。

実践

総括表等の活用

## 年度末の自己評価

# 自己評価の総括表の例（イメージ）

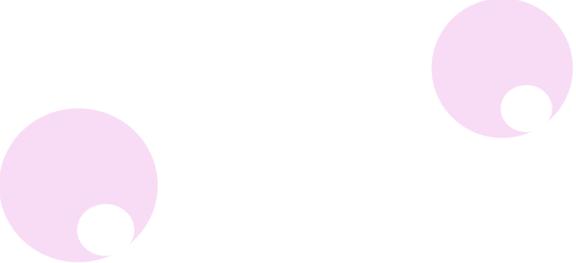
～成果と課題を俯瞰する手立て～

本年度の評価項目を全て並べることで、園が教育水準を高めるためにどのような努力をどの程度行っているかが分かります。

重点目標	評価項目	取組指標		取組結果	成果指標		成果	総括評価	コメント
		基準			基準				
① 自然と関わる遊びを豊かにする保育の展開	【教育課程・指導】 振り返りの充実による指導計画の改善	4	振り返りの記録を定期的にまとめて指導計画を改善する	2.6	4	幼児が自然の変化に興味を示したり、自分たちの遊びを取り入れるようになった	2.6	B (2.6)	
		3	振り返りの記録から、自らの指導と幼児の学びとの関わりを捉える		3	幼児が、調べたり集めたり試行錯誤したりしながら、自然環境に関わるようになった			
		2	幼児が自然と触れ合っている姿を記録し幼児の興味・関心を捉える		2	幼児が、自然の事象や変化に気付き、表現したり伝えたりするようになった			
		1	自然と関わる遊び等を保育に取り入れる		1	幼児が、自然の事象や自然の様子を見るようになった			
	【研修：資質向上の取組】 自然に関わる遊びや活動に関する園内研修の実施	4	幼児が自然に関わって面白がったり試行錯誤したりしながら遊ぶ姿について園内研修を 月に1回以上 行う	3.5	4	教師はもっと面白い遊びや素材等を見つけて保育に活用しようとするようになった	3.3	A (3.4)	
		3	同上 月に1回程度 行う		3	研修で提案された遊びや素材を実際に保育に活用し、試してみる教師が出てきた			
		2	同上 2か月に1回程度 行う		2	新しい遊びや素材等を探す教師の姿が見られるようになった			
		1	同上 学期に1回程度 行う		1	教師が保育の中で提示しているのは、自分の扱い慣れた遊びや素材だけである			
② (略)	(略)								

教師がどのような保育や取組をしたか、力量を高める努力をしたかを取組指標の【1】～【4】の基準に照らして振り返ります。取組の結果、基準【2】程度の取組だったという評価であれば、幼稚園の取組としては、普通程度だったこととなります。【3.5】は、とても努力したという結果と言えます。

その取組の結果、幼児や教師がどのように変容したかを成果指標に照らして評価します。結果が、指標の基準【3】程度であれば、幼児が育って（或いは、教師の力量が上がって）目標に近づいてきた、【4】であれば、「幼児（教師）は、十分成長した！」「取組がよかった。この取組は有効・大切」ということが分かります。

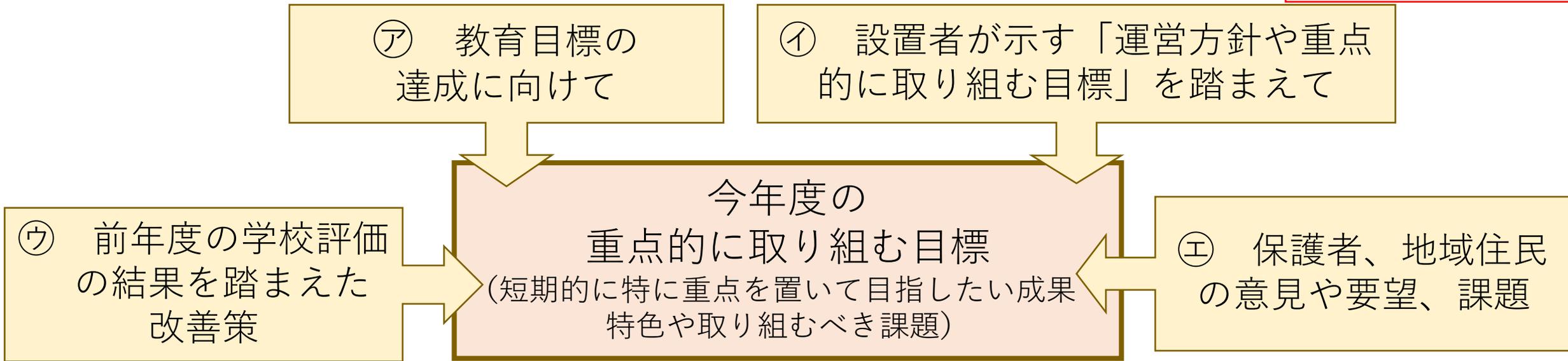


学校評価を実施する過程は、  
教職員と目標を共有し、取組や成果を確認する場。  
この場をコミュニケーションの場にしよう。



# 「重点的に取り組む目標」の設定の考え方

ガイドブックP3



## 重点目標の設定について

- ①当該年度に**特に重点を置いて目指したい成果や取り組むべき課題**を精選する
  - ・各園が設定している教育目標や教育活動の基本方針ではなく
  - ・園運営の全分野を網羅して総花的に設定するのではなく
  - ・地域社会の中で特に課題となっていることがあれば勘案 例) 新型コロナウイルス感染拡大  
→ 「自ら健康を守ろうとする生活習慣を培う保育の展開」
- ②**具体的な保育がイメージできるように重点目標**を設定する

# 具体的な保育のイメージがもてるような目標の設定を

ガイドブックP5 Q & A

- ・ 重点的に取り組む目標を、具体的な保育のイメージがもてるような目標にすることが大切。
- ・ 目標が具体的だと、どのような取組が必要かをイメージしやすく、取組（評価項目）が決まれば、評価指標等が設定しやすくなる。

## 重点的に取り組む目標を設定する際の考え方

例) 教育目標「**考えて行動する子ども**」の達成に向けて  
→ 感じたり考えたりしながら好奇心いっぱいの活動を生み出す指導を充実させたい。

「不思議さや面白さを感じて夢中になるような姿がたくさん見られるような保育」をすると子どもが考える機会が多くなるよね。

重点的に取り組む目標を「**自然と関わる遊びを豊かにする保育の展開**」にしよう！

**具体的な保育のイメージがもてるような目標にすることが大切**



自然と関わると、「不思議！」も多い。自然との関わりを充実させればいいかな？

園庭の自然が豊かなのに、保育者は自然環境をあまり活用していないし、・・・。

# 自園の「重点的に取り組む目標」を考えてみよう

◎令和3年度の「重点的に取り組む目標」

◎令和2年度の「重点的に取り組む目標」

# 自園の「重点的に取り組む目標」を振り返ってみよう

過去3年間の「重点的に取り組む目標」を振り返ってみよう



## 振り返りのチェックポイント

◎令和3年度の「重点的に取り組む目標」

- .....
- .....
- .....

◎令和2年度の「重点的に取り組む目標」

- .....
- .....
- .....

ここでの学びが、  
キーポイント！

①毎年、同じような重点目標ですか？

②園の教育目標や指導方針のように、基本的な考え方を示すものですか？

③前年度の評価で「達成した」「概ね達成した」とされた目標は、重点として大切だからという理由で、少しだけ言葉を変えて同じような目標になっていませんか？

④前年度の学校評価・園評価で明らかになった課題に対応した目標になっていますか？

⑤具体的な方策（評価項目）がイメージできるような目標になっていますか？

# 全方位的な点検評価について

ガイドブックP18

- 重点的に取り組む目標に関する評価では、分野に偏りが出る可能性
- 全方位的な視点も必要
- 幼稚園の教育活動及びその他の学校運営は、12分野 → 評価項目の分野について配慮
- 3～5年に一度は、その分野を確かめる評価項目の設定を行うこと

「幼稚園における学校評価ガイドライン [平成23年改訂]」文部科学省より

## 「評価項目・指標等を検討する際の視点となる例」

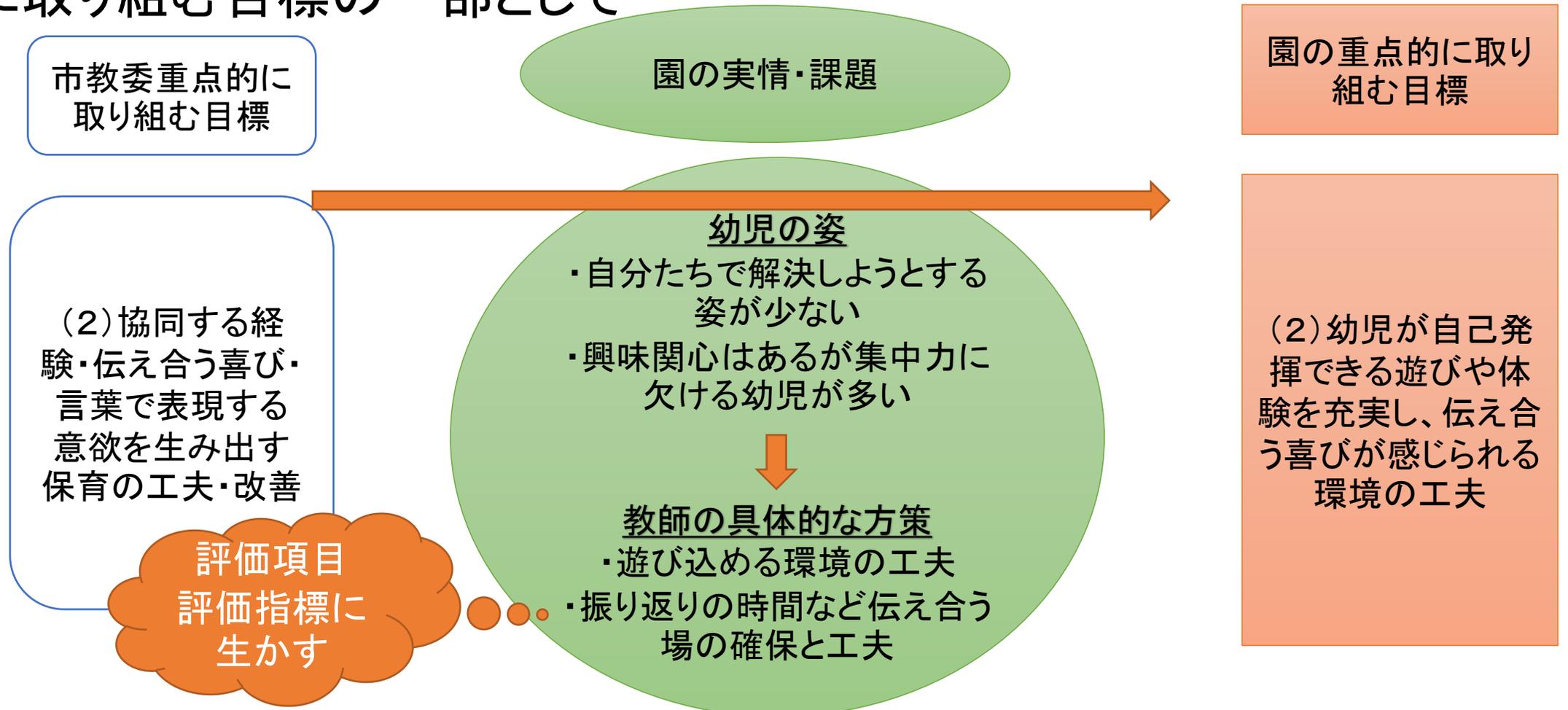
ガイドブックP29

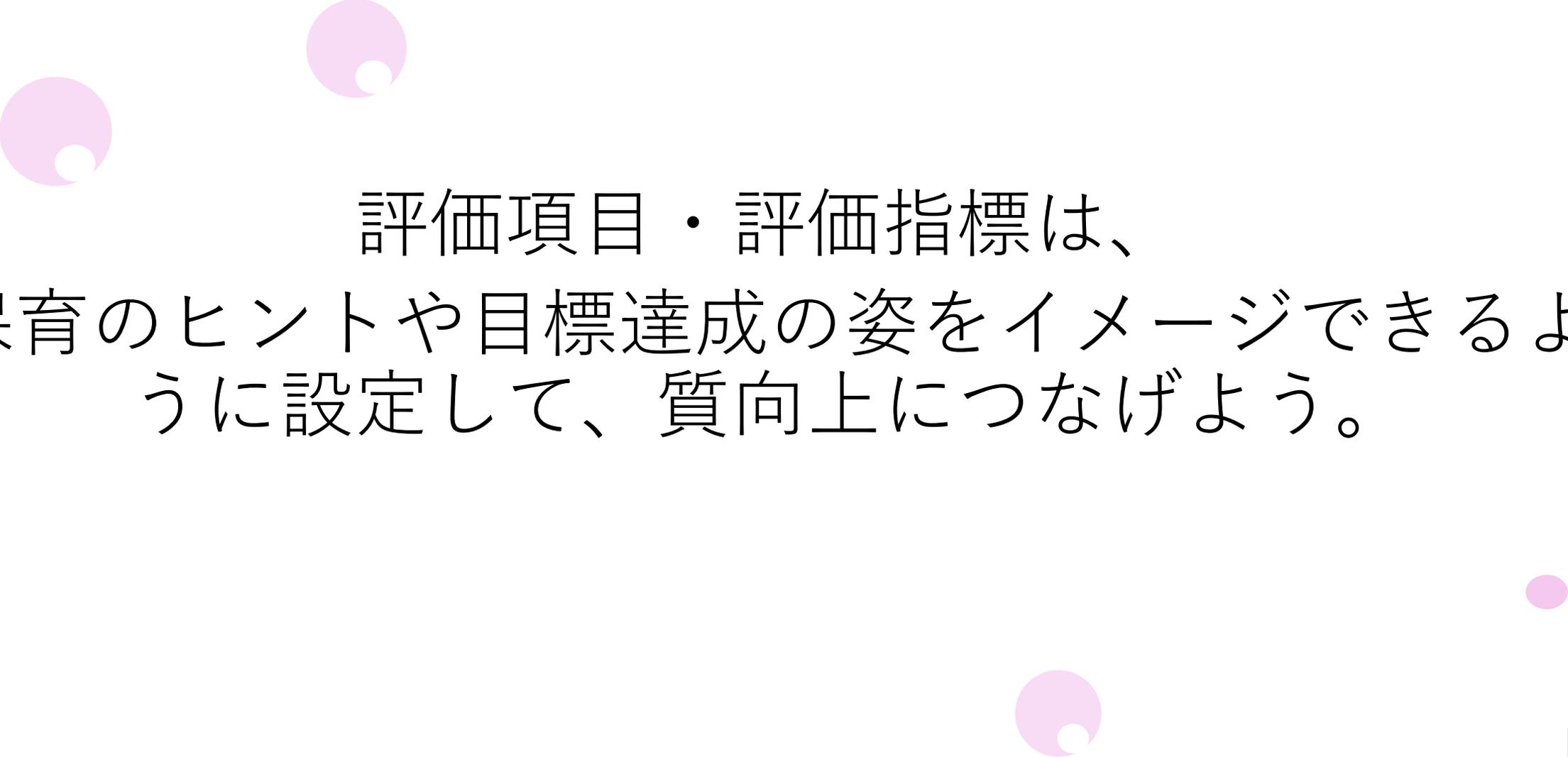
- |             |         |                |
|-------------|---------|----------------|
| • 教育課程・指導   | • 保健管理  | • 安全管理         |
| • 特別支援教育    | • 組織運営  | • 研修（資質向上の取組）  |
| • 教育目標・学校評価 | • 情報提供  | • 保護者・地域住民との連携 |
| • 子育て支援     | • 預かり保育 | • 教育環境整備       |

# 設置者が示した目標を、園独自の目標に取り込んでいる園

報告書P21～24

## 「主体的・対話的で深い学びの領域」で市教育委員会が示した重点的に取り組む目標の一部として





評価項目・評価指標は、  
保育のヒントや目標達成の姿をイメージできるように設定して、質向上につなげよう。

## 重点的に取り組む目標の達成を目指す 具体的な取組（評価項目）の設定

重点的に取り組む目標「自然と関わる遊びを豊かにする保育の展開」

→ 目標の実現のためにどのような取組をするか = **評価項目の設定**

### 園の実態に即した取組（評価項目）を考える

ガイドブックP5

自然環境を活用できない教職員もいるので、「自然と関わる遊びを豊かにする」ために自然と関わる遊びを指導計画の中に位置付けることと、自然と関わる遊び（教材）の研修を充実したらどうだろうか

① 振り返りの充実による指導計画の改善..... “教育課程・指導”の分野で考えた評価項目

② 自然と関わる遊びや活動に関する園内研修の実施 ..... “研修（資質向上の取組）”の分野から考えた評価項目

→この2つの取組を、評価項目として設定しよう。

# 評価項目「ア振り返りの充実による指導計画の改善」を実現する道筋は多様

ガイドブックP31

評価項目「指導計画の改善」の達成までの道筋は、一律ではない。  
教職員の力量や関係によって異なるので、各園の実情に即した道筋を考える。



(案1)③→⑥→④→⑦の道筋もあれば、(案2)⑧→②→②→⑦の道筋も考えられる。

- ① 幼児が自然と関わっている姿を捉え、その遊び（自然との関わり）が充実するような遊具・用具を、使いやすく環境の構成をする（幼児の状況を捉えた環境の構成の視点）
- ② 自然と関わる遊び等を保育に積極的に取り入れ、振り返りで気付いたことを、明日の保育に生かす（日々の指導・週日案の改善）
- ③ 保育の記録に、幼児が自然と触れ合っている姿について記述し、幼児の興味・関心を捉える（記録の仕方）。
- ④ 振り返りの記録から、自らの指導と幼児の学びとの関わりを捉える。
- ⑤ 自然環境を見直して保育に取り入れたこと（研究保育を含む）を振り返り、教師間で共有し、指導に反映する。
- ⑥ 振り返りの記録を定期的にまとめて、自然との関わりに関する幼児の育ちを捉える。
- ⑦ 季節ごとの園庭の自然環境を見直し、指導計画の改善に生かす
- ⑧ 自然に関わる遊びを充実させる援助ができるように、自然に関する知識を深める。  
（教師の基礎的な知識・技能の視点）

# 「振り返りの充実による指導計画の改善」への多様な道筋の例

ガイドブックP32

記録から幼児の実態を捉えて、指導計画の改善につなげようとする道筋の例

## 案1 (③→⑥→④→⑦の道筋)

基準	取組指標
4	季節ごとの園庭の自然環境を見直し、指導計画の改善に生かす
3	振り返りの記録から、自らの指導と幼児の学びとの関わりを捉える
2	振り返りの記録を定期的にまとめて、自然との関わりに関する幼児の育ちを捉える
1	幼児が自然と触れ合っている姿について記録し、幼児の興味・関心を捉える

保育者が自分で学び、実践しながら指導計画の改善につなげようとする道筋の例

## 案2 (⑧→②→②→⑦の道筋)

基準	取組指標
4	季節ごとの園庭の自然環境を見直し、指導計画の改善に生かす
3	振り返りで気付いたことを、明日の保育に生かす
2	自然と関わる遊び等を保育に積極的に取り入れる
1	自然に関わる遊びを充実させる援助ができるように、自然に関する知識を深める

# 評価指標の設定も具体的な姿がイメージできるように

ガイドブックP6

**評価指標**には、取組指標と成果指標がある。

**取組指標**は、評価項目の達成に向けた取組についての的確に把握するための視点となるもの。「どのような取組」をしていれば「十分取り組んでいる」と判断するか等、教員が共通理解できるよう具体的な取組がイメージできる姿で示す必要がある。

**成果指標**は、取組の成果として期待する幼児（或いは保育者、保護者等）の姿を具体的に示すもの。

評価指標

取組指標

どのようなことに、どの程度取り組むか  
数値・段階的に（例. 学期1回、月1種以上など）

成果指標

幼児がどのように変容したか  
教職員がどのように変容したか

重点的に取り組む目標；自然と関わる遊びを豊かにする保育の展開

評価項目；振り返りの充実による指導計画の改善 【教育課程・指導】の分野

## 取組指標

- 4 振り返りの記録を定期的にまとめて指導計画を改善する
- 3 振り返りの記録から、自らの指導と幼児の学びとの関わりを捉える
- 2 幼児が自然と触れ合っている姿を記録し幼児の興味・関心を捉える
- 1 自然と関わる遊び等を保育に取り入れる

## 成果指標

- 4 幼児が自然の変化に興味を示したり、自分たちの遊びに取り入れるようになった
- 3 幼児が、調べたり集めたり試行錯誤したりしながら、自然環境に関わるようになった
- 2 幼児が、自然の事象や変化に気付き、表現したり伝えたりするようになった
- 1 幼児が、自然の事象や自然の様子を見るようになった

※評価指標は、【4】に示す取組をすると【4】の成果につながるという意味ではありません。

【4】の取組まで頑張ったけれど、成果（幼児の姿）は【2】の段階だったということも考えられます。

この場合、どう考えればよいのでしょうか？

# 評価指標・基準の設定の例

重点的に取り組む目標；自然と関わる遊びを豊かにする保育の展開

評価項目；自然に関わる遊びや活動に関する園内研修の実施【研修：資質向上の取組】の分野

取組指標	成果指標
4 自然と関わる遊びや活動に関する園内研修を <u>月1回以上</u> 行う	4 保育者はもっと面白い遊びや活動、素材等を見つけようとするようになった
3 同上 <u>月1回</u> 程度	3 研修で提案された遊びや素材等を、実際に試してみる保育者が出てきた
2 同上 <u>2か月に1回程度</u>	2 保育者が新しい遊びや素材等を探す姿が見られるようになった
1 同上 <u>学期に1回程度</u>	1 保育者が提示しているのは、自分の扱い慣れている遊びや素材等だけである

※基準は各園独自に設定することが望ましいが、その基準が示す**具体的な姿を教職員が共通理解**することが大切！ → **教職員のコミュニケーションの場**に

# 全方位的な点検・評価と日常的な点検の例

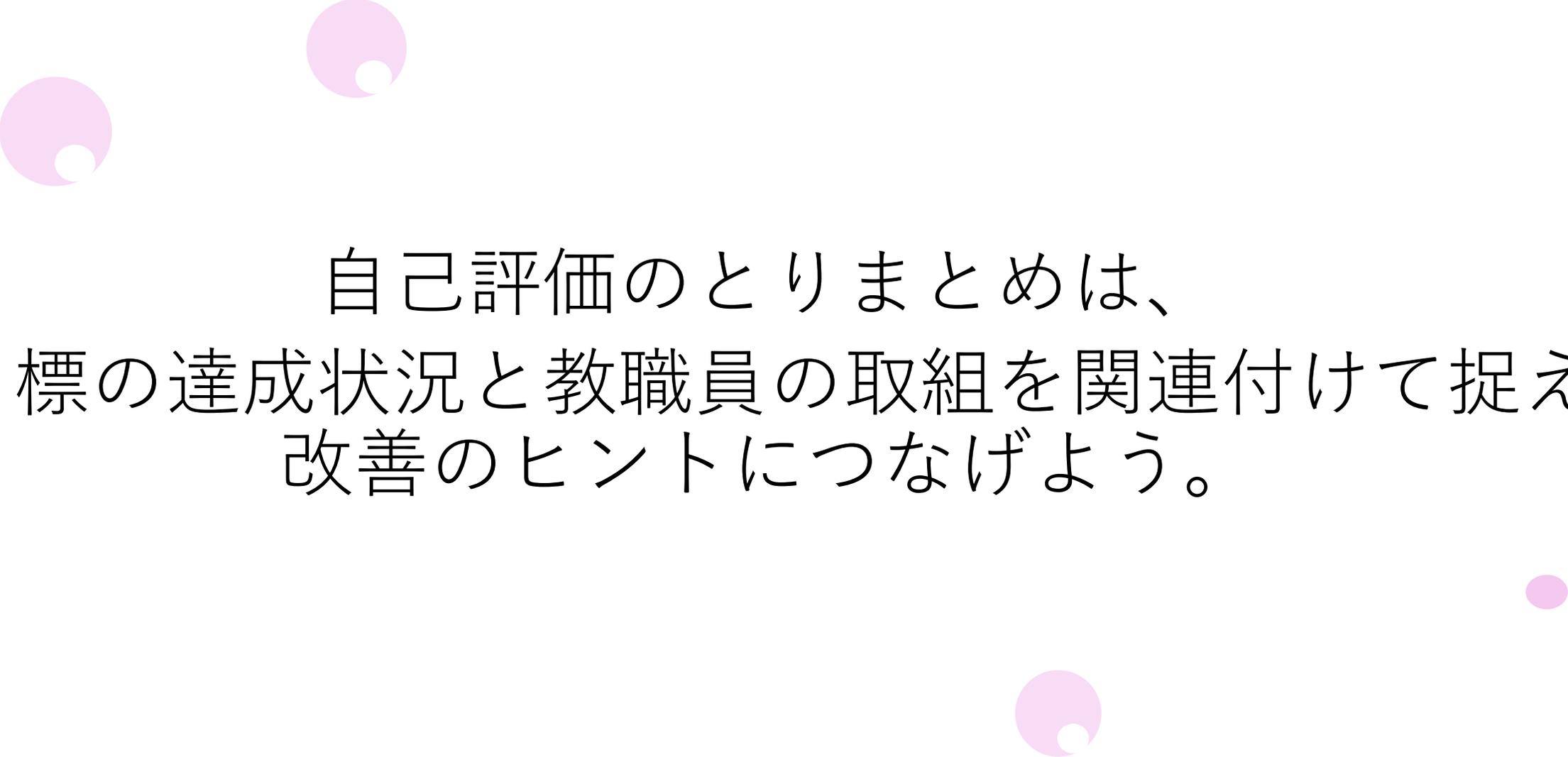
ガイドブックP19～21

適切に実施している項目に☑を記入 不十分な場合には備考欄に記入

項目	内容	☑	備考	
教育課程・指導	教育目標	・幼稚園・幼児の実態を踏まえた教育目標を設定しているか		
		・教育目標の具現化に向け、実態を踏まえた中(長)期の目標を設定しているか		
		・教育目標についての共通理解が図られているか		
	指導について	・幼稚園教育要領を踏まえ教育課程や全体的な計画、年間指導計画を作成しているか		
		・長期・短期の指導計画は、幼児の実態に即して作成されているか		
		・学年・学級目標に迫る長期・短期のねらいは、適切に設定しているか		
		・幼稚園教育要領の内容を踏まえ、幼児の発達に即した指導をしているか		
		・チーム保育などにおける教師間の協力的な指導を行っているか		
		・日常的に振り返り、幼児理解に基づいて保育の改善に努めているか		
		・環境の構成を意識した指導の方法や過程を常に工夫しているか		
	教育週数・時間	・教育週数を39週確保しているか		
		・教育課程に係る教育時間は4時間を確保しているか		
	特別支援教育	・園内研修の実施・各種研究会の参加により、特別支援教育への理解を深めているか		
		・個別の教育支援計画を作成し、全教職員が共通理解して個に応じた支援をしているか		
		・特別支援教育コーディネーターを指名など、園内体制を作っているか		
		・保護者の思いや願いを受け止め、保護者や関係諸機関と連携しているか		
		・地域関係機関や行政、専門家と連絡・連携をして進めているか		

保健・安全管理		・ 学年・学級経営に生かされるような具体的な保健対策を講じているか		
		・ 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発や連携を行っているか		
		・ 幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等と連絡体制を確立しているか		
		・ 学校安全計画、防災計画、保健計画を作成し、実施しているか（防災訓練、不審者対応、交通安全、生活安全）		
		・ 保健日誌、園医執務記録、健康診断記録簿、薬品管理簿等法令に定められた表簿を作成しているか		
		・ 学校保健安全法、学校給食法に基づく検査・点検が行われているか（換気、採光、照度、保温、水質、薬品保管等）		
		・ 危機管理マニュアルが作成され、活用、見直しをしているか		
		・ 園舎・園庭の施設・設備の安全点検を計画的に行っているか		
経営・組織・提言	園務分掌・経営	・ 能率的、合理的な運営組織、職務内容になっているか		
		・ 職務内容が明確で、協働できる体制になっているか		
		・ 職員の配置（係や仕事の分担・割り当て）は適切か		
		・ 各種会議や打ち合わせが適切かつ効率的に進められているか		
		・ 打合せ回数、時間、内容は適切か		
		・ 職員会議は、教育方針の伝達、共通理解の場になっているか		
		・ 各種文書・各表簿（含む、学籍の記録、幼児指導要録等）は、適切に作成・処理・管理しているか		
		・ 幼児や保護者に関する個人情報 を適正に取り扱っている		
		・ 出退勤時刻を管理し、効率よく職務を進める運営を工夫している		
		・ 教職員は、学校保健安全法、労働基準法等の各種法令の内容を理解し順守しているか		
		・ 出勤簿、休暇簿、勤怠報告書が作成されているか		
研究		・ 各種会計を適正かつ適切に処理しているか		
	研究	・ 研究主題は、教育目標の具現化につながるものであるか		
		・ 園内研修の回数、時間、内容、計画・運営は適切か		
		・ 各種研究会、研修会、講習会への参加態勢の充実を図っているか		
・ 外部の各種研究・研修会、講習会での内容を園内に還元しているか				

学校評価		・全教職員の共通理解の下、自己評価を実施しているか		
		・重点的目標、評価項目が設定されているか		
		・学校関係者評価は、自己評価の結果を評価しているか		
		・学校評価の結果を公表、及び設置者に報告しているか		
情報提供		・幼児や保護者に関する個人情報 を 適正に取り扱っているか		
		・公文書收受、発送、処理を適切に行っているか		
		・HPの更新、改善、活用をしているか		
		・各種表簿は、適切な時期、期間、方法で作成・処理しているか		
開かれた幼稚園づくり	校種間交流	・児童等と触れ合う中で幼児が充実感を味わうことができるような配慮や援助・指導を行っているか		
		・交流の打合せや事後の評価を行い、互惠性のあるものとなるようにしているか		
		・参観や保育・授業等に参加するなどして、他校種教育を理解しようとしているか		
	家庭・地域との連携	・保護者、地域に保育公開をしているか		
		・指導計画に即して保護者を含む地域の人材活用をしているか		
		・地域協力者、関係機関と定期的に情報交換をしているか。		
		・地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか		
	子育て支援	・未就園児の会の回数、内容は適切か		
		・地域の親子への園庭、施設の開放は適切に行われている		
		・保護者からの子育てに関する相談に、適切に対応しているか		
		・他の関係機関、専門家との連絡・連携体制をとっているか		
	預かり保育	・家庭や地域の実情を踏まえた預かり保育の時間、回数になっているか		
・預かり保育は適切な運営がされているか（人材、場所、内容など）				
・教育課程の時間内の活動との関連性を考慮し、一体的に展開しているか				



自己評価のとりまとめは、  
目標の達成状況と教職員の取組を関連付けて捉え  
改善のヒントにつなげよう。

4 これくらい取り組んでくれたら園長は最高!  
 3 少し頑張っこれくらいできるかも  
 2 これくらい取り組むのは普通程度  
 1 もう少し頑張っほしい

というように、どの程度取り組んだか評価の基準を示している。これによって評価の基準が共通理解され、妥当性・信頼性を高めることにつながる。

取組指標には、評価項目に示している具体的な方策（保育の展開）のヒントになるような内容や、教職員に対して、「こんな保育をしてほしい」「こうやってみたらよいかもしいない」という園長からのメッセージとなるように工夫している。

の総括(抜粋) - 評価指標

年度末に教職員が自分の取組を振り返り基準に基づいて評価した結果を集計し、全員の評価の平均値を記入し、その妥当性について協議する。

重点的に取り組んだ結果、どのような成果があったか、幼児・教職員がどのように変容したかを捉えて評価する指標を示す。「幼児がこういう姿を見せるようになったら嬉しいね」と共通理解した指標や、「(教職員が)こんな力を付けたら嬉しい」というメッセージになるように考え設定している。

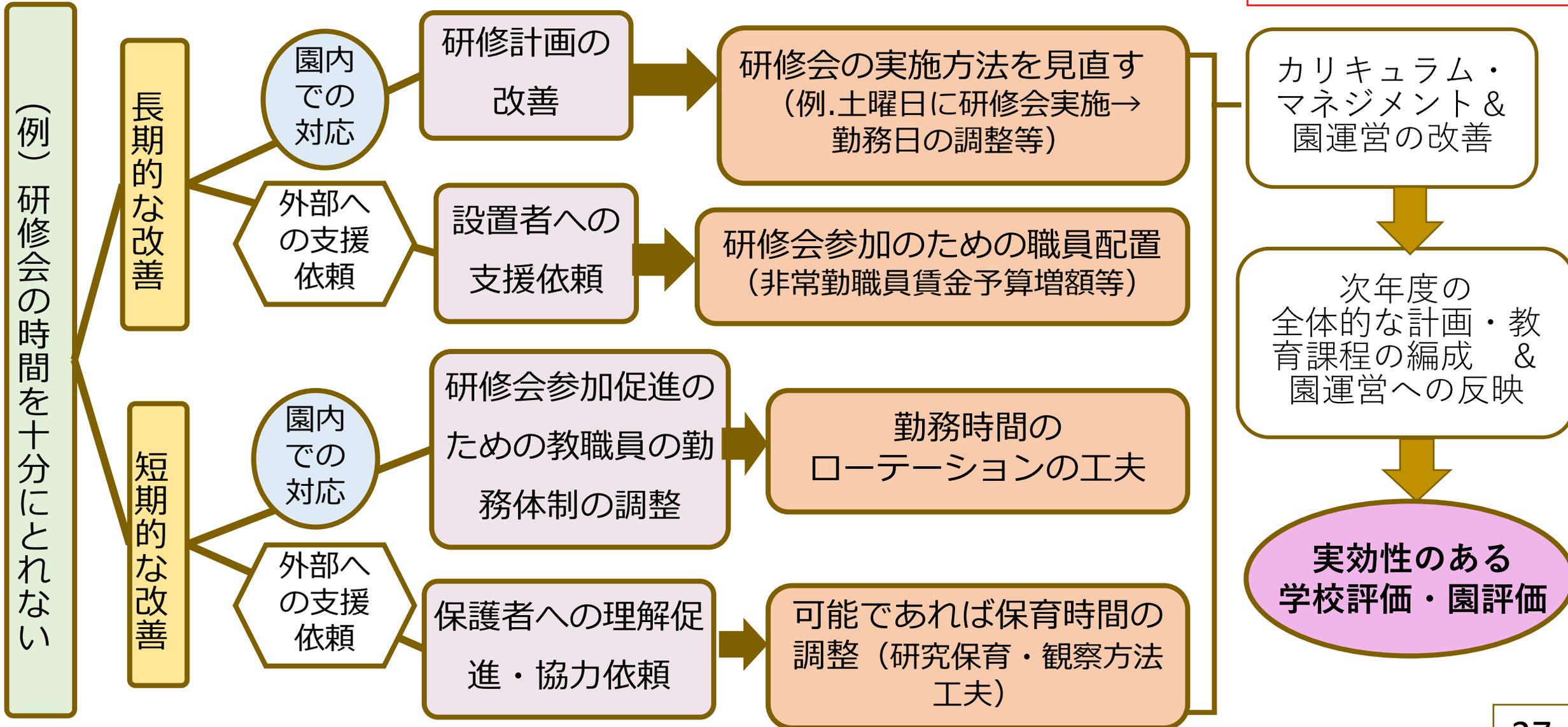
取組と成果に関する評価結果（カッコ内は平均値）と教職員の意見の内容を総合して4段階で評価している  
 A とても良い  
 B まあまあ良い  
 C 普通  
 D 良くない（要検討）

数値では表しきれない思いを、自らの取組と関連させて記述したり、改善への提案を記述したりした内容について、協議した結果をまとめている。

目標	評価項目	基準	取組(努力)指標	取組結果	基準	成果指標	成果	総括評価	コメント
教育活動の記録を生かしたまとめや保育の見直し改善と環境構成	【教育活動・指導】 幼児期の発達や学びを踏まえた教材を工夫して環境を構成する。	4	子どもの主体性とねらいとのバランスを考えて、遊具や用具を揃え、環境の構成を工夫する	2.6	4	子どもは、教師が研究して準備したモノに興味や関心を持ち、活用しながらさらに遊びが発展するようになった。	2.4	B (2.5)	コメント
		3	子どもの発達にあった遊具や用具等、保育室の環境を考え、子どもたちが遊びやすい用具の置き方の工夫する。		3	子どもたちの遊びのイメージがわきやすくなった。			
		2	子どもの発達を理解し、一人一人に合った遊具や用具を準備をする。		2	子どもは、教師が提示したり環境として置いたモノに興味を示し触れたり使ったりするようになった。			
			1	一人一人に合った遊具や用具を準備をする。		1	子どもは、教師が提示したり環境として置いたモノを見ている。		
	【教育活動・指導】 飼育物や栽培に興味・関心をもたせ、発見や気づきを通し、命の大切さにつなげた援助をする。	4	栽培物の花や実を造形活動に生かしたり食べたりして、命の大切さにつなげた援助をする。	3.5	4	育てている花や野菜の成長に気づき喜んだり、友達に伝えたりするなど、竿倍物に関心を持ち、大切に作る気持ちをもつようになった。	3.3	A (3.4)	
		3	子どもたちの気づきや発見、活動に応じて、栽培物の生長に気付くような表示や掲示物を工夫したり環境構成をする。		3	自分たちの育てている花だけでなく、園内の花や野菜の様子にも興味をもつようになった。			
		2	季節に応じて種まき、苗植えをして、子どもたちと一緒に、生長を楽しむ。		2	当番を楽しみにして、成長や変化に気付くようになった。			
			1	指導計画に基づいて、花や野菜などを育てる活動を保育に取り入れる。		1	当番はするが、興味関心はあまりない。		
	【教育活動・指導】 日々の振り返りの中で、子どもの姿から発達を捉えたり保育のねらいとの関連から自らの指導を評価し、保育を改善する	4	日々のねらいに即した記録や週日案の改善から、一人一人の発達に必要な経験が得られる保育を創造する。	2.8	4	記録を基に振り返り、PDCRAサイクルを保育実践に生かした教職員が 75%以上	3.0	B (2.9)	
		3	子どもの発達や姿から保育を振り返って記録し、ねらいに即した評価を行い、週日案の改善を行う。		3	同上 65%以上			
		2	日々の振り返り、反省・評価を重ねながら、発達の時期や年齢を意識した保育を実践する。		2	同上 <b>ガイドブックP16&amp;17</b>			
		1	日々の振り返りをし、反省・評価を基に、次の日の計画を立てる。		1	同上 50%未満			

# 自己評価の結果を次年度の教育や園運営に活かす工夫

ガイドブックP22



# 教育課程・指導の分野における評価指標の参考例

ガイドブックP34

評価指標	取組指標の例	成果指標の例
①教育課程・指導		
評価項目	意欲的に身体を動かして遊ぶ環境の構成	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幼児が体を使って遊んでいる姿を記録し、幼児の実態を捉える</li> <li>・ 幼児の興味・関心に応じた遊びを取り入れ、多様な動きが経験できるように環境を構成する</li> <li>・ 幼児の遊びの流れや、実現しようとしていることなどを理解しながら、園庭全体の空間や遊具の配置を工夫する</li> <li>・ 様々な遊びを通して、他学年同士が交流し合ったり一緒に遊んだりする場や機会をつくる</li> <li>・ 幼児期の運動発達について職員同士で学び合い、指導計画に取り入れる</li> <li>・ 幼児の遊び方を捉え、危険な場所、物、状況に応じた安全指導を行う</li> </ul> <p>※ この考え方を、他の活動についての取組として活用することができます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 園庭で全身を思い切り使って遊んだり、多様な遊びをしたりするようになった</li> <li>・ ルールを理解して様々な集団遊びを楽しむようになった</li> <li>・ 他学年の遊びに関心をもち、仲間に加わって遊ぶようになった</li> <li>・ 何度も繰り返したりチャレンジしたりするようになった</li> <li>・ 友達と一緒に運動することに楽しさを感じ、遊び方を工夫しながら多くの動きを取り入れたりするようになった（バランス、用具の操作なども）</li> <li>・ 安全について考え、安全に気をつけて行動するようになった</li> </ul> <p>※ この考え方を、他の活動についての成果として活用することができると思います。いろいろに考えてみてください。</p>	

# 教育課程・指導の分野における評価指標の参考例

ガイドブックP35

評価指標	取組指標の例	成果指標の例
①教育課程・指導		
評価項目	健康に関する幼児の意識を高める指導の工夫	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染予防に関する話をする</li> <li>・教師が、うがい・手洗いなど率先してモデルを示す</li> <li>・感染予防に必要な用具や場を適宜設定して環境を構成する</li> <li>・幼児が自分で手洗いをすることを促す図などをわかりやすく掲示する</li> <li>・健康（感染予防）に関する絵本やポスター等を幼児の目につくところに掲示する</li> <li>・保育室だけでなく、手洗い場等の衛生管理にも気を付けて環境を構成する</li> <li>・保護者にも感染予防に関する協力依頼をする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師等に声をかけられたら、手洗い・うがいをする</li> <li>・教師に声をかけられなくても、手洗い・うがいをするようになった</li> <li>・幼児は必要感を感じながら手洗い・うがいをするようになった</li> <li>・うがいをしない友達に、注意したり確かめる言葉を掛けたりするようになった</li> <li>・感染予防に関する話をしたり、見聞きしたニュース等について話したりするようになった</li> <li>・幼児が健康を意識して生活をするようになった</li> </ul>	

## 演習の成果

講演の後に行ったグループ協議の中で、参加者が作成した評価指標の例を以下に示します。

各園で評価指標を作成する際の参考にしてください。

演習で、参加者が  
考えた評価指標

重点的に取り組む目標

子どもたちが活発に体を動かす楽しさを味わう保育の展開

評価項目；意欲的に身体を動かして遊ぶ環境の構成

### 取組指標

- 4 教員同士に運動に関する研修を深め、子どもの姿から実践を振り返り、指導の改善を図る
- 3 異年齢の子どもと一緒に体を動かす場や機会を設ける
- 2 子どもの実態に応じて、園庭の空間や遊具の配置を工夫する
- 1 子どもの実態に即した身体を動かすことができる遊びや遊具や用具の用意、内容を工夫する

### 成果指標

- 4 友達と一緒に自分たちで工夫しながら、様々な動きを楽しむようになった
- 3 やってみようとする気持ちや繰り返し挑戦しようとする気持ちをもてるようになった
- 2 身体を動かすことが楽しいと感じるようになった
- 1 教師や友達が身体を動かして遊んでいる様子に興味をもったり、誘われると一緒に遊ぶようになった

演習で、参加者が  
考えた評価指標

重点的に取り組む目標  
子どもたちが健康を意識しながら  
安心して生活できる保育の展開

評価項目；感染予防のための健康習慣を身に付ける指導の工夫

取組指標

- 4 自分の体の不調や変化に気付いたり子ども自身が担任に伝えられるように働きかける
- 3 絵本や掲示物から子どもが理解しやすいものを取り入れる
- 2 保護者へ基本的な生活習慣や効果的な手洗いやうがいの仕方を啓発
- 1 子どもが分かりやすい手洗いの方法を表示する

成果指標

- 4 子どもたちが健康を意識し距離を保つなど、声を掛け合いながらできるようになる
- 3 手洗いの必要感を感じ方法を理解してできるようになる
- 2 生活習慣が身につき、自分からすすんでできるようになる
- 1 表示を見たり教師に声をかけられたりし、手洗いなどができるようになる

演習で、参加者が  
考えた評価指標

重点的に取り組む目標  
子どもたちが健康を意識しながら  
安心して生活できる保育の展開

評価項目；感染予防のための健康習慣を身に付ける指導の工夫

取組指標

- 4 保健の先生や園医から手洗いの大切さを教えてもらい、体験する機会をつくる。
- 3 絵本やポスター、ニュース記事等を使って、子どもに感染予防をわかりやすく伝える。
- 2 家庭での健康管理や感染予防について、園だよりを活用して保護者と共通理解を図る。
- 1 手洗いの手順表の掲示や並ぶ場所を足型で示す等、生活の仕方がわかる環境を整える。

成果指標

- 4 子どもから出てきた健康習慣に関する疑問や発言をクラスで考え合って、自分たちの生活に取り入れるようになった。
- 3 子どもたちが必要性を感じながら、丁寧に手洗いをするようになった。
- 2 周りの友だちに刺激を受けて、自分で手洗いをするようになった。
- 1 掲示物を見たり、先生の真似をしながら、手洗いをするようになる。